

■ Cambridge English (ケンブリッジ英検)

- ・情報更新 (Cambridge English Scale、日本初CBTセンター誕生) <P.1>
- ・導入事例 (大学入試、授業、インターンシップ) <P.2>
- ・スコア分析分布 <P.3>
- ・研究調査関連 <P.4>

■ 実用英語技能検定試験 (英検)、TEAP、IELTS

- ・情報更新 (英検 2 級ライティング導入等) <P.7>
- ・大学入試における活用事例 <P.11>
- ・受験状況 <P.12>
- ・対応付け調査結果報告 <P.13>

■ GTEC CBT

- ・GTEC for STUDENTSとの比較 <P.16>
- ・大学における活用状況 <P.17>
- ・CAT (Computer Adaptive Testing) の説明 <P.18>
- ・パーセンタイル (CEFRとの参照含む) <P.20>

■ GTEC for STUDENTS

- ・タブレット端末によるSpeakingテスト <P.22>
- ・CEFRとの対照表 <P.23>
- ・行政、学校へのサポート <P.23>
- ・CEFRとの関連付け <P.25>

■ TOEFL iBT

- ・情報更新（試験会場数、スコア票ダウンロード入手サービス開始等） <P.29>
- ・導入事例（高校（SGH含む）、大学） <P.30>
- ・受験生のスコア分布 <P.32>
- ・研究調査関連 <P.33>
- ・授業での実践事例 <P.35>

■ TOEFL Junior Comprehensive

- ・情報更新（テスト構成、受験概要） <P.42>
- ・大学入試活用例 <P.43>
- ・調査研究関連 <P.43>
- ・取組事例（高校） <P.44>
- ・スコア分布 <P.44>

■ TOEIC/TOEIC S&W

- ・情報更新（会場数、実施頻度、4技能スコアレポートの発行開始等） <P.45>
- ・導入事例（入試、進級・卒業要件等） <P.46>
- ・スコア分布分析 <P.47>
- ・研究調査関連 <P.49>



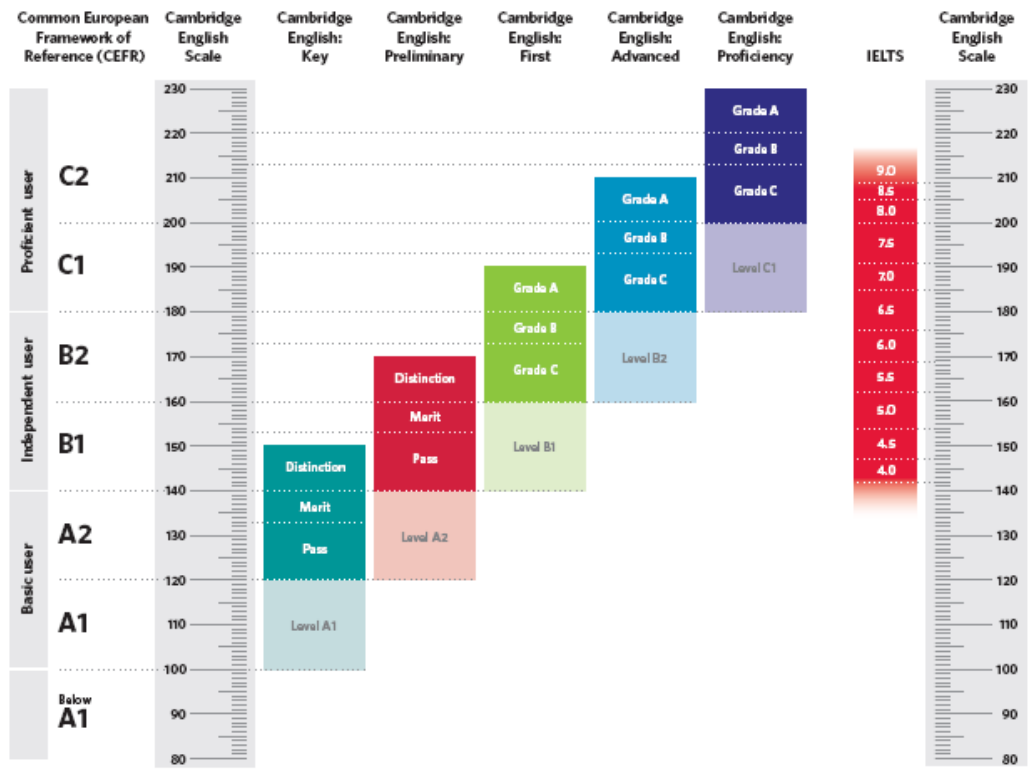
Cambridge English

ケンブリッジ大学英語検定機構 日本支部
2015年9月29日



① 情報更新

Cambridge English Scale (スコア 80~230)



<導入開始>

2015年1月
 First (FCE)
 Advanced (CAE)
 Proficiency (CPE)

2016年2月
 Key (KET)
 Preliminary (PET)

出所: <http://www.cambridgeenglish.org/jp/exams/cambridge-english-scale/>

日本初CBT試験センター誕生



②-1 導入事例（大学入試）

「2016年度の一般入試において英語外部試験を利用する大学」

神田外語大学 PET以上は、満点換算

武蔵野大学 Preliminary (PET) 以上は、みなし得点100点

関西学院大学 First (FCE) 以上

立命館アジア太平洋大学 スコア169*以上は満点換算 *CEFR B2, FCE相当

<特別入試> ※出願資格

国際教養大学 PET以上

中央大学 CPEもしくははCAEの合格者

創価大学 PET以上

神田外語大学 PET以上

名城大学 PET以上

立命館アジア太平洋大学 活動実績アピール方式 スコア140以上、英語基準AO方式 スコア153以上

<2017年度入試>

<2018年度入試>

<2019年度入試>

筑波大学 ※実施方式および導入年（前倒しを含む）は検討中



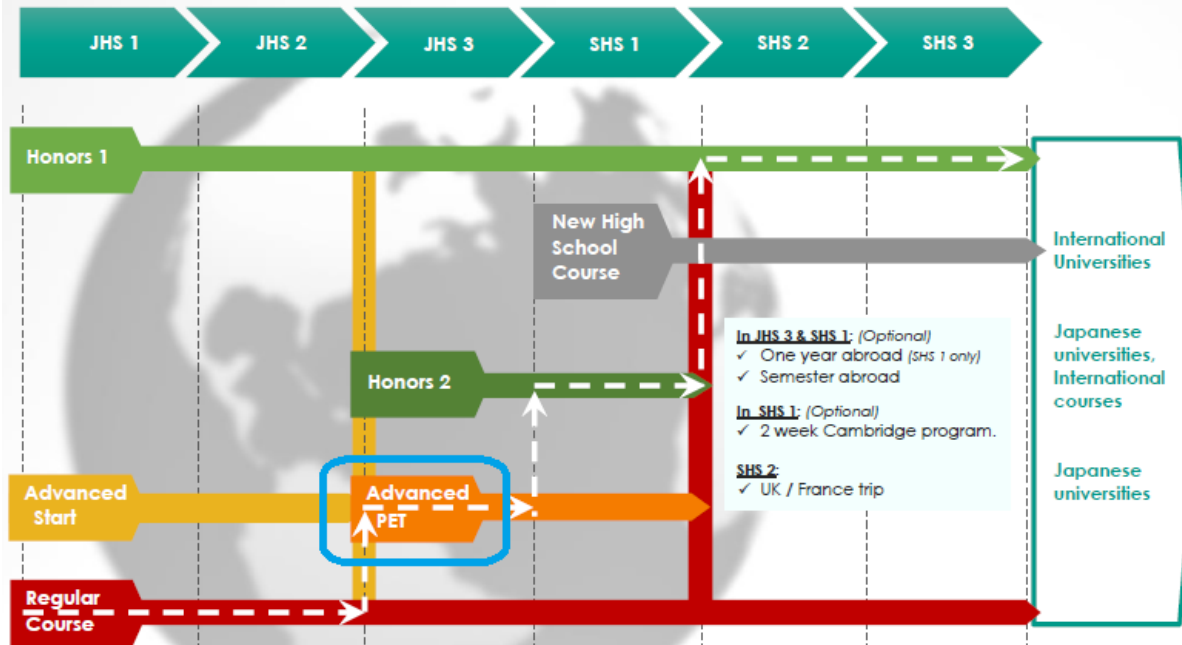
②-2 導入事例（授業）

かえつ有明中・高等学校（東京都江東区）

	Cambridge PET for Schools コース	Grammar 文法
コース期間	2年間：中3～高1	
英語力レベル	Good second language 優れた第二外国語（目安：英検準2級程度）	
授業数	週3（50分授業）	週3（50分授業）
使用言語	英語のみ（ネイティブの英語科教員）	英語および日本語（日本人の英語科教員）
授業スタイル	Active, Collaborative, fun	日英両言語による徹底指導
評価	試験、宿題、授業態度、PET模擬試験、実際にPET受験の機会あり	通常コースの生徒と同じ試験とカリキュラム

中高生対象のPETを選んだ理由は？

- Cambridge English:PETは、留学、旅行、ビジネスで英語を使うことができる中級レベルの英語力の到達を証明するテスト
- 世界で通用する試験であり、「読む」「書く」「話す」「聞く」4技能すべてにおいてその能力があることを示すことができるテスト
- 英語を暗記するのではなく、理解し、自信をもって使うことができることに重点を置く授業アプローチに合致



②-3 導入事例 (インターンシップ)



ニセコ地域でインターンシップを実施

出所：大学英語教育学会 第54回
(2015年度) 国際大会
「北星学園大学短期大学部英文学科
のグローバル人材育成 北海道ニセ
コ地域における企業や教育機関と連
携したグローバル人材育成の取組」
(北星学園大学短期大学部
白鳥金吾先生 ポスター発表資料を基
に作成)

外国人観光客の増加による国際リゾート化 - 英語によるインターンシップが可能な環境

グローバルに活躍できる人材の育成



単位：万人泊

順位	市町村名	宿泊客延べ数
1	札幌市	1,090
2	函館市	353
3	登別市	121
4	釧路市	120
5	帯広市	97
6	倶知安町	89
12	ニセコ町	54

単位：人泊

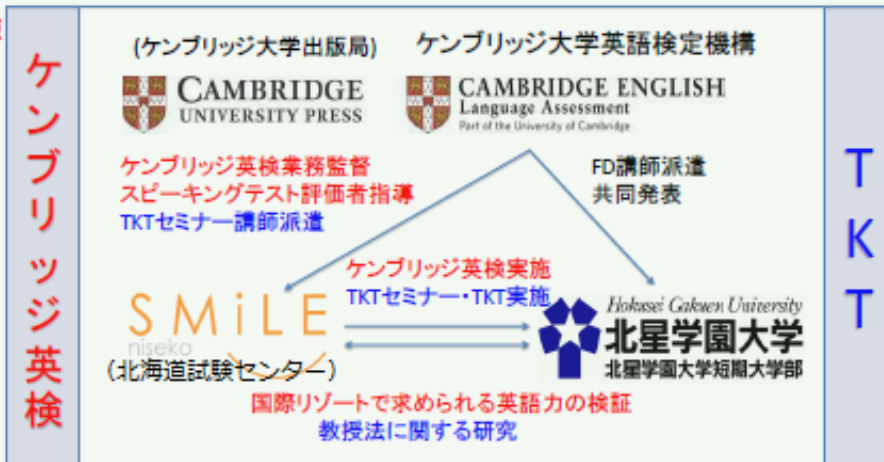
順位	市町村名	宿泊客延べ数
1	倶知安町	143,904
2	ニセコ町	19,929
3	札幌市	18,716
4	留寿都村	15,012
5	富良野市	14,128

図2 オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村
出所：北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書(平成25年度)』



グローバルに通用する英語力を示す国際資格のニーズの高まり (ケンブリッジ英検)
CEFRなど国際的な尺度や指標に基づく教授法や教員養成の必要性 (TKT)

プレミナリー (PET) 中級



「読む」スキル
自身が携わる仕事の範囲であれば、日常業務では目にしない内容のレターや論理的な記事であっても一般的な意味は理解できる。

「聞く」スキル
難しくない内容であればプレゼンテーションやデモンストレーションを理解できる。

「書く」スキル
主題が身近で予想可能であるミーティングやセミナーであれば、ある程度正確なノートをとることができる。

「話す」スキル
自身が携わる仕事の範囲のことで難しくない内容であれば、顧客に対してアドバイスをすることができる。

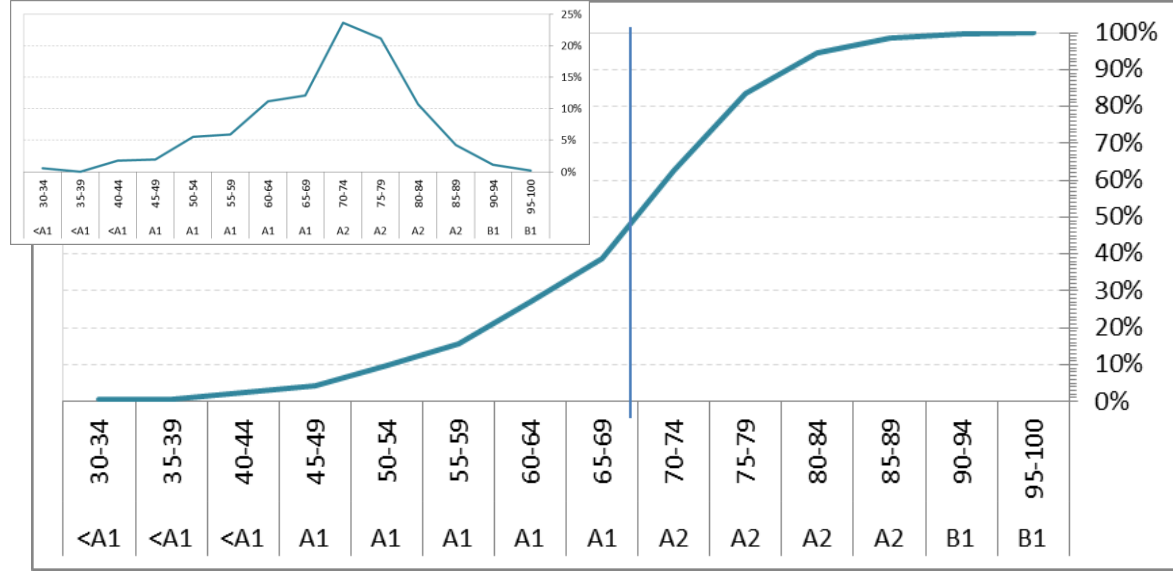


③ スコア分析分布

2009~2015年 KET&PET for Schools 日本人受験者(15~18歳)

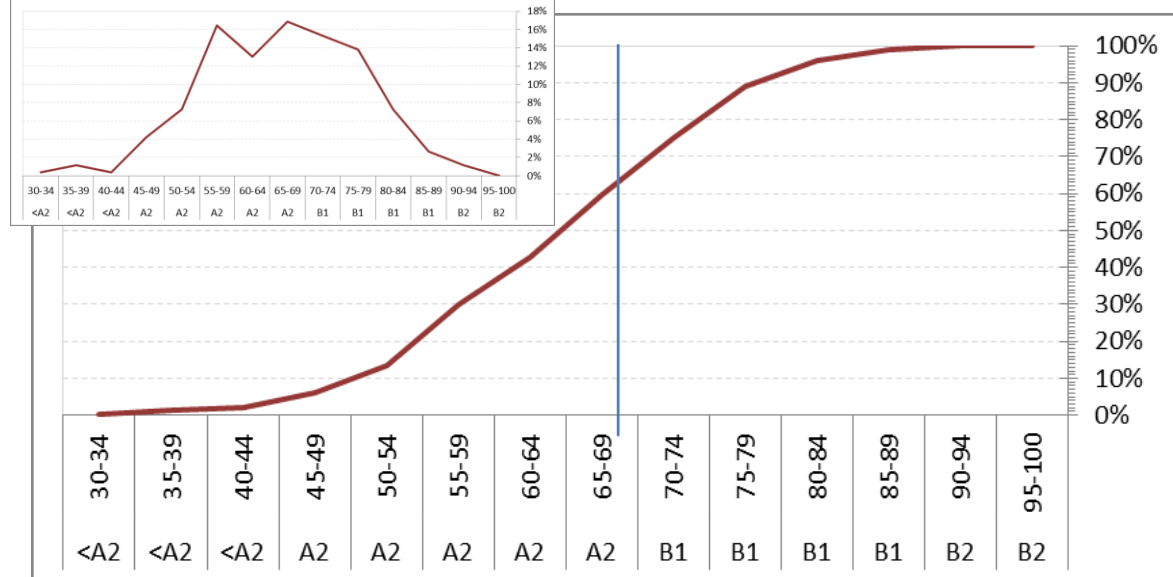
KET(A2) Candidates 15-18, 2009 - 2015

Grade	score	%	cum %
B1	95-100	0.19%	100.00%
B1	90-94	1.15%	99.81%
A2	85-89	4.22%	98.66%
A2	80-84	10.75%	94.43%
A2	75-79	21.11%	83.69%
A2	70-74	23.61%	62.57%
A1	65-69	12.09%	38.96%
A1	60-64	11.13%	26.87%
A1	55-59	5.95%	15.74%
A1	50-54	5.57%	9.79%
A1	45-49	1.92%	4.22%
<A1	40-44	1.73%	2.30%
<A1	35-39	0.00%	0.58%
<A1	30-34	0.58%	0.58%
			100.00%



PET(B1) Candidates 15-18, 2009 - 2015

Grade	score	%	cum %
B2	95-100	0.00%	100.00%
B2	90-94	1.15%	100.00%
B1	85-89	2.68%	98.85%
B1	80-84	7.28%	96.17%
B1	75-79	13.79%	88.89%
B1	70-74	15.33%	75.10%
A2	65-69	16.86%	59.77%
A2	60-64	13.03%	42.91%
A2	55-59	16.48%	29.89%
A2	50-54	7.28%	13.41%
A2	45-49	4.21%	6.13%
<A2	40-44	0.38%	1.92%
<A2	35-39	1.15%	1.53%
<A2	30-34	0.38%	0.38%
			100.00%





④ 研究調査関連



Hebei Schools (China)

ケーススタディ: 中国河北省の公立学校

出所 : Research Notes Issue 50, November 2012
「河北省影響調査: 中国河北省の公立学校におけるCambridge Englishの試験がもたらした影響に関する研究」

ケーススタディ：中国河北省の公立学校

2009年～2015年7月までの実績



- 2015年だけで約3万人の生徒が参加するプロジェクト
- 公立の15校が参加（主に中学校）
- 生徒の年齢は上限16歳
- 国際児童英検(YLE)、ケンブリッジのプレースメントテスト、KET(A2)、PET(B1)、FCE(B2)を学校のカリキュラムに追加して学習
- 累計でプレースメントテスト20,000人、その他のテスト18,000人以上活用
- 教員が英語教授知識認定テスト(TKT)を約1,000モジュール受験
- 3万人の生徒がTKTの研修を受けた教員の指導のもと英語を学習

- TKTが職能開発に役立っており、先生方に人気
- 「話す」力が（中国河北省内の統一テストの成績で）他校の生徒より格段に優れているため生徒にも好評

(原文) Popular with students as their oral skills are much better (outperform students in Chinese regional English tests)



Positive impact of adopting Cambridge English for schools exams ケンブリッジ英検 中学校カリキュラムへの導入成功事例 (中国河北省)

- KET/PET embedded curriculum enhances students' performance in the high school entrance examinations KET/PETをカリキュラムに入れた結果、高校入試での生徒の成績が向上
- the English scores of the High school entrance examination of Baoding No. 17 Middle School (the first school that embedded Cambridge English) 保定第17中学校の高校入試における英語テストのスコアは地域トップ

Year	2008	2009	2010	2011	2012
Gap of the average English score between the 1 st ranking school (Baoding No.17 Middle School) and the 2 nd ranking school 第1位の保定第17中学校と第2位の中学校間に生じた英語テストの平均点の差	0.3	10.4	12.05	13.9	25.02

- Passing rate of KET/PET higher than the global rate KET/PETの合格率は世界平均以上！
- KET/PET passing rate of Baoding No.17 Middle School 保定第17中学校のKET/PET合格率

KET passing rate 合格率	PET Passing rate 合格率	Global passing rate 世界の平均 合格率	China passing rate 中国全体の平均 合格率	Candidature 受験者数
91.38%	79.55%	KET41.9% PET 52.2%	KET49.2% PET 28.6%	3618

出所 Grade statistics 2012

(KET): <http://gradestatistics.cambridgeenglish.org/2012/ket.html>

(PET): <http://gradestatistics.cambridgeenglish.org/2012/pet.html>



グローバルな視点で日本人の英語力を捉えるグレード統計

Preliminary for Schools (PET for Schools) CEFR B1

データ出所：Grade statistics 2014 Preliminary for Schools (PET for Schools)
Percentages in each grade for all sessions by country / territory.

※ウェブサイトで公表しているデータ

Country	Grade				
	Pass with Distinction	Pass With Merit	Pass	Council of Europe Level A2 Pass	Fail
Ireland	18.2%	22.7%	50.6%	7.4%	1.1%
Italy	7.6%	14.9%	51.9%	24.9%	0.7%
Japan	0.0%	4.3%	30.9%	54.3%	10.6%
Jordan	0.0%	12.9%	41.9%	41.9%	3.2%
Korea (South),	15.9%	25.4%	34.9%	23.8%	0.0%
Kuwait	5.9%	21.6%	27.5%	43.1%	2.0%
Latvia	40.0%	20.0%	36.0%	0.0%	4.0%
Lebanon	12.5%	20.2%	49.0%	18.3%	0.0%
Luxembourg	7.3%	24.4%	58.5%	9.8%	0.0%
Macedonia	60.0%	25.0%	5.0%	10.0%	0.0%
Malaysia	16.7%	13.2%	46.4%	23.3%	0.5%
Mexico	8.3%	14.5%	49.3%	25.8%	2.0%
Myanmar (Burma)	17.9%	24.0%	41.4%	16.7%	0.0%

←省略

←省略

Grand Total	8.2%	15.0%	51.6%	24.3%	0.9%
-------------	------	-------	-------	-------	------

PET for Schools (CEFR B1)の統計から、世界の中で日本の学生の英語レベルが実感できる

英検・TEAP・IELTS

公益財団法人 日本英語検定協会

2015年9月29日



英検

後援:文部科学省

IELTS™

- ① **【英検・TEAP・IELTS】情報更新**
- ② **【英検・TEAP・IELTS】導入事例**
- ③ **【英検・TEAP・IELTS】受験状況**
- ④ **研究調査関連**

平成27年7月15日

公益財団法人 日本英語検定協会

実用英語技能検定

「2級」ライティングの導入、4技能化のお知らせ

～来年度2016年度 第1回より開始～

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下、「英検協会」）は、来年度 2016年度の第1回実用英語技能検定より、「2級」にライティングを導入し4技能化することといたします。

英検協会は、1963年の設立以来、半世紀以上にわたり、英語学習者の4技能（「リーディング」・「リスニング」・「スピーキング」・「ライティング」）のバランス良い英語習得を目的に、実用英語技能検定をはじめとする各種資格・検定試験を制作してまいりました。現在、実用英語技能検定は、全級（「1級」・「準1級」・「2級」・「準2級」・「3級」・「4級」・「5級」の7級）でリーディングとリスニング、「3級」以上の上位級で面接形式のスピーキング、さらに「1級」と「準1級」ではライティングをそれぞれ実施し、「1級」と「準1級」が4技能、「2級」・「準2級」・「3級」が3技能、「4級」と「5級」が2技能に対応しています。

現状の実用英語技能検定の各級における測定技能一覧（2015年度まで）

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
リーディング	○	○	○	○	○	○	○
リスニング	○	○	○	○	○	○	○
スピーキング	○	○	○	○	○	—	—
ライティング	○	○	—	—	—	—	—

このたび、昨今の入試での4技能化や外部の資格・検定試験の活用促進の動きに呼応し、「1級」、「準1級」に続き、まずは「2級」を4技能化することといたしました。詳細につきましては以下をご参照願います。

① 【英検】 情報更新

2級ライティングの問題例

- 以下のTOPICについて、あなたの意見とその理由を2つ書きなさい。
- POINTSは理由を書く際の参考となる観点を示したものです。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
- 語数の目安は80語～100語です。

TOPIC

These days, some people buy things on the Internet. Do you think more people will do so in the future?

POINTS

- ・Cost
- ・Safety
- ・Technology

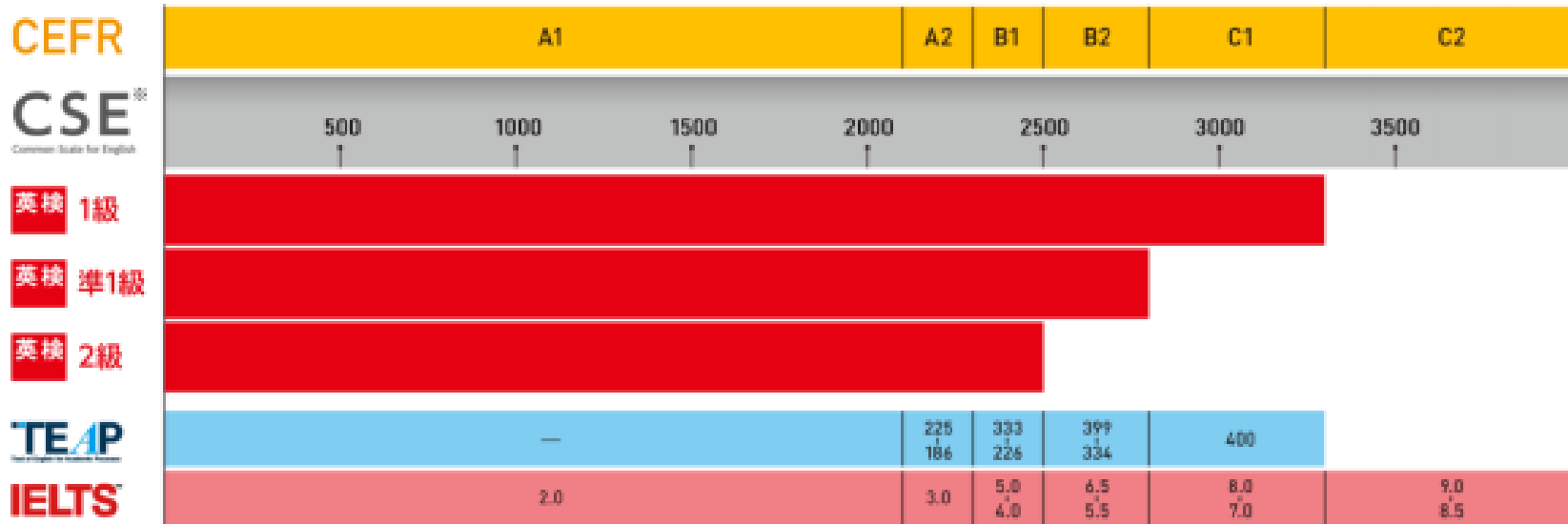
CSEと英検4技能化を連動させ、
大学入試に向けて、より一層
利便性の高い資格・検定試験へ

今後の実用英語技能検定の各級における測定技能一覧（2016年度以降）

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
リーディング	○	○	○	○	○	○	○
リスニング	○	○	○	○	○	○	○
スピーキング	○	○	○	○	○	—	—
ライティング	○	○	○ 2016年度 第1回開始	○ 早期実現を目指して ただいま準備中	○	—	—

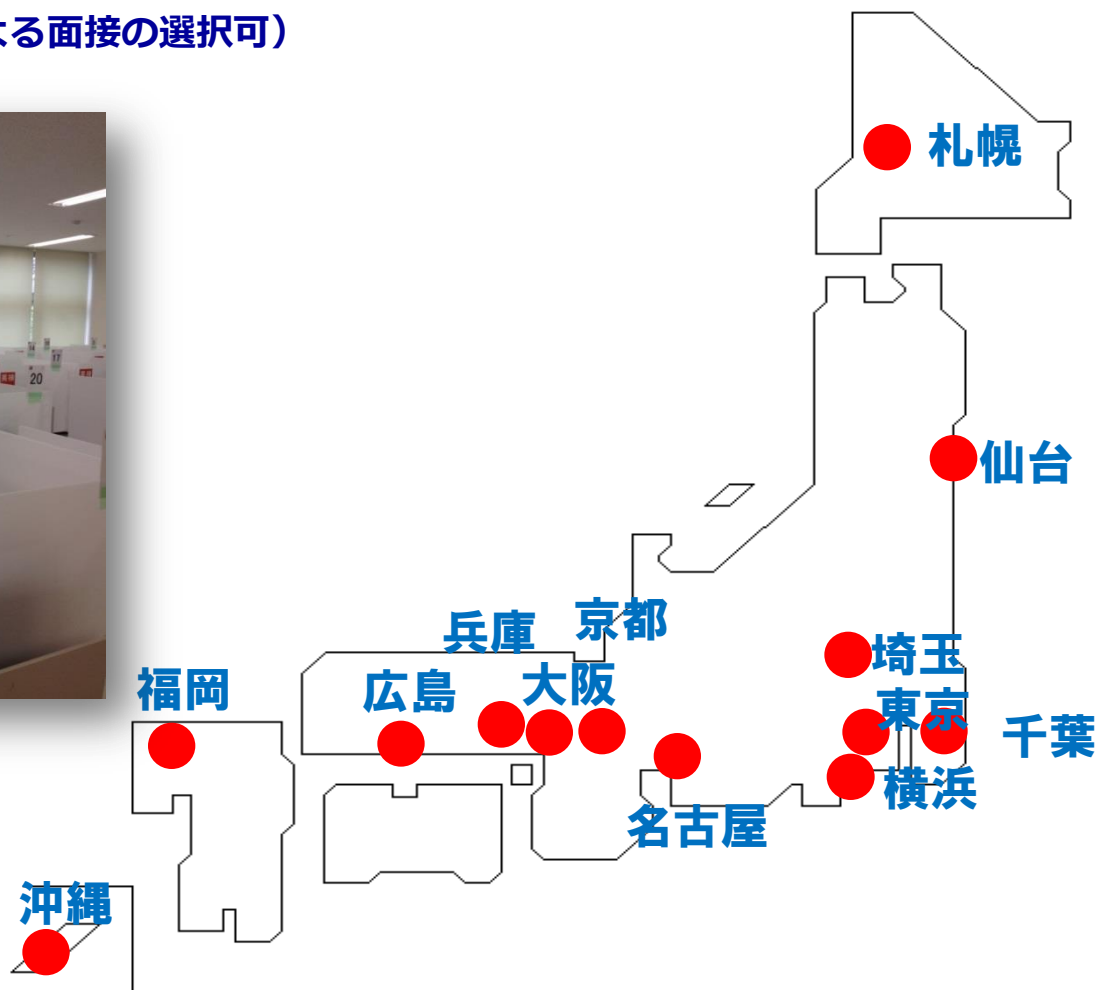
① 【英検】 情報更新

実用英語技能検定1級・準1級・2級のCEFRとCSE*との相関図 (イメージ)



- CSEとは。英検・英検IBAも含め、あらゆる英語能力検定試験のスコアを一本化することを目的とした共通スケールです。
- このスコアを継続的に活用することにより、過去の自分のスコアと比較し、能力向上を簡単かつ定量的に確認することができます。
- 英検・英検IBA・TEAP等のマッピングをスタートしております。

英検CBT： 一次試験は全国13都市で実施！ (二次試験はオンライン面接、人による面接の選択可)



① 【英検】 情報更新

検定料助成制度

助成制度	対象	対象級・条件
研究校	「英語教育強化地域拠点事業」で指定された研究校	1級 5,000円 準1級 4,000円 2級 3,000円 準2級 2,500円
研修協力校	「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」で指定された研修協力校	3級 2,000円 4級 1,000円 5級 1,000円
スーパーグローバル ハイスクール (SGH) 指定校	「スーパーグローバルハイスクール事業」のSGH指定校 ※アソシエイトは除く	※1級・準1級は団体・本会場申込に限る ※2級～5級は団体・準会場申込に限る
英語担当教員向け	1条校の内、中学・高校・中等教育学校・特別支援学校・高等専門学校に勤務する常勤の英語担当教員。	1級： 4,000円 準1級 3,000円 ※期間：2012年度第1回～2016年度第3回検定
小学校教員向け	1条校の内、日本国内の小学校に勤務する常勤の教員。	1級： 4,000円 準1級 3,000円 2級： 2,500円 ※期間：2012年度第1回～2016年度第3回検定

①【TEAP】情報更新

～2016年度入試、TEAP利用型入試広がる～

上智大学

2015年度入試：

「TEAP利用型」と「学科別入試」の合計により過去最高志願者数を記録

2016年度入試：

全体の約3割の学科にて4技能スコアを導入

青山学院大学

文学部英米文学科、地球社会共生学部、総合文化政策学部における一般入試

東京理科大学

経営学部ビジネスエコノミクス学科一般入試「グローバル方式入学試験」

～2017年度入試以降も、TEAPの採用が進む～

早稲田大学

2017年度入試：

文化構想学部・文学部一般入試（英語4技能テスト利用型、仮称）

明治大学

2017年度入試：

経営学部、一般選抜入試の一部に英語資格・検定試験を活用

筑波大学

2018年度推薦入試から導入（医学類は2017年度から導入）

個別学力検査には2019年度入試から全学導入予定

英検

各位

TEAP
Test of English for Academic Purposes

平成27年7月3日
公益財団法人 日本英語検定協会

速報！

4技能型アカデミック英語能力テスト「TEAP」

今年度の第1回の総志願者数

前年度 同回比162%、約4,800名

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下、「英検協会」）が、学校法人 上智学院（理事長：高祖敏明、所在地：東京都千代田区、以下、「上智大学」）と共同開発しました、4技能型アカデミック英語能力判定試験「TEAP（ティーブ）」（Test of English for Academic Purposes、以下、「TEAP」）におきまして、今年度（2015年度）第1回の総志願者数が 4,751名となりましたことをご報告いたします。

2015年度第1回（7月19日実施） TEAP 総志願者数 4,751 名 （前年同回比 162%）

※前年度 同回 TEAP 総志願者数 2,928 名

※前年度 第1回～第3回 TEAP 総志願者 合計 10,067名

<世界>

2014年世界受験者数**250**万人突破。

英国へのビザ取得において、IELTSが**唯一**英国国外で受験できる英語力証明テスト（Secure English Language Test）として **英国政府**より認定。

<国内>

2014年度国内受験者数**3.1**万人突破。5年間で約**4倍**増。

続々と発表されている入試への外部試験導入においても、TOEFL iBTに近い、**高い採用率**。

② 【英検・TEAP・IELTS】入試における活用事例一覧

大学名	学部名	開始入試年度	入試方式	英検	TEAP	IELTS
筑波大学	全学部	2018	推薦入試	○	○	○
筑波大学	全学部	2019	一般入試	○	○	○
東京大学	全学部	2016	推薦入試	○		○
大阪大学	全学部	2017	適塾入試	○		○
金沢大学	人間社会学域 国際学類	2016	一般入試、推薦入試、帰国子女入試	○		○
広島大学	全学部	2016	推薦入試	○		○
広島大学	全学部	2017	一般入試	○		○
山口大学	国際総合科学	2015	一般入試	○		○
長崎大学	多文化社会	2016	一般入試	○		○
東京海洋大学	全学部	2016	一般入試、推薦入試	○		○
首都大学東京	全学部	2015	グローバル人材育成入試	○		○
早稲田大学	文学部、文化構想学部	2017	一般入試	○	○	○
上智大学	全学部	2015	TEAP利用型入試		○	
東京理科大学	経営学部ビジネスエコノミクス学科	2016	一般入試グローバル方式入学試験		○	
明治大学	経営学部	2017	一般入試	○	○	○
青山学院大学	文英米、地球、総文	2016	一般入試		○	
立教大学	全学部	2016	一般入試グローバル方式	○	○	○
法政大学	グローバル教養等合計6学部	2016	英語外部試験利用入試(一般入試)	○		○
国際基督教大学	アーツ&サイエンス学科	2015	一般入学試験 (B方式)			○
神田外語大学	全学部	2016	センター利用入試・全学統一入試	○	○	○
獨協大学	全学部	2016	一般入試A外部検定試験活用型	○	○	○
武蔵野大学	全学部	2016	グローバル方式(英語資格基準型)	○	○	○
武蔵野大学	グローバル学部等7学部	2016	AO入試	○	○	○
南山大学	全学部	2016	全学統一入試等		○	○
中京大学	国際教養等10学部	2016	一般入試英語基準型	○	○	○
名城大学	経営学部	2016	英語資格取得者特別入学試験	○		
名城大学	外国語学部	2016	英語資格取得者特別入学試験	○	○	○
関西学院大学	全学部	2016	センター利用入試	○	○	○
立命館大学	国際関係	2016	IR方式	○		○
立命館大学	全学部(法と理工除く)	2016	センター利用入試	○		○
近畿大学	国際学部	2016	外部試験利用精度(推薦入試一般公募)	○	○	○
エリザベト音楽大学	音楽学部	2016	一般入試(後期日程)、AO入試、奨学生入試	○	○	○
西南学院大学	文学部外国語学科	2016	AO入試	○	○	○
西南学院大学	外国語学科、商学科、経営学科、国際関係法学科	2016	公募推薦入試	○	○	○

③ 【英検・TEAP・IELTS】 受験状況

英検受験の状況



(実用英語技能検定、英検IBA、英検Jr. の志願者数の合算)

年度	(西暦)	小学校以下	中学・高等学校 (高専含む)	大学 (短大・専修学校含む)	その他	合計
H22年度	2010年度	282,793	1,794,504	86,546	314,174	2,478,017
H23年度	2011年度	300,335	1,830,157	83,750	297,490	2,511,732
H24年度	2012年度	310,642	1,853,908	70,516	310,238	2,545,304
H25年度	2013年度	327,580	1,951,164	69,133	309,167	2,657,044
H26年度	2014年度	332,790	1,929,979	62,837	309,797	2,635,403

当データは、志願者が願書に記載した年齢、および、その所属先に基づき集計したもので当協会ではその事実確認はいたしておりません。「志願者」は、検定料金をお支払いいただき実際に申込を行ったお申し込み人数を指します。実受験者数ではございませんのでご了承ください。

③ 【英検・TEAP・IELTS】受験状況

IELTS(日本国内)の受験状況

IELTS™

■ 5年間で受験者数約4倍

日本国内では2010年4月より、日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが共同運営という形で試験の運営と管理を行っています。試験開始当初から5年、日本の受験者数は年々増えてきており、2014年度は過去最高の31,000人の方にご受験いただきました（左表）。これは、日本英語検定協会の全国に広がるネットワークを駆使しての地方会場の新設や効果的な広報活動が一因となり、世界で最も認知されているIELTSが、日本でも浸透してきていることを示すものです。

年度	合計(約)
2009	7,000
2010	10,000
2011	15,000
2012	19,000
2013	24,000
2014	31,000

TEAPの受験状況

TEAP
Test of English for Academic Purposes

■ 採用大学がますます増えています

TEAPで出題される問題は、英語で講義を受ける、英語の文献を読み解く、英語で発表を行うといった大学教育で遭遇する語彙、場面、分野を想定した設定、内容となっています。2014年度より運営を開始し、入学試験にTEAPの採用を決めた大学は全国で増えています。日本の英語教育によりよい影響をもたらす存在として、TEAPに注目が集まっています。

	第1回	第2回	第3回	年間合計
2014年度	2,928	3,518	3,621	10,067
2015年度	4,751	4,002	-	-

④ センター試験・TEAP・英検 対応付け調査結果報告

対応付け調査概要

背景および目的

- 「英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会（文部科学省）」において外部試験活用が提案されている
- そのなかで、CEFRをベースとした既存の英語テスト換算表の活用が案として示されている。現状、各社ともCEFRとの対応をもとに換算表を作成しているが、データに基づく厳密な換算表ではない
- 英検協会では、大学入試センター試験、英検、TEAP等のテストを同一受験者に受験させ、データに基づく客観的なテスト間の関連性を明らかにすることを目的に「相関調査」を実施した
- 本調査を今後大学・高校・受験者等に提供することにより、入試等における適正な外部資格検定試験の活用を促すと共に、より具体的かつ正確な英語学習の目標設定を可能にすることを目的としている。

調査方法

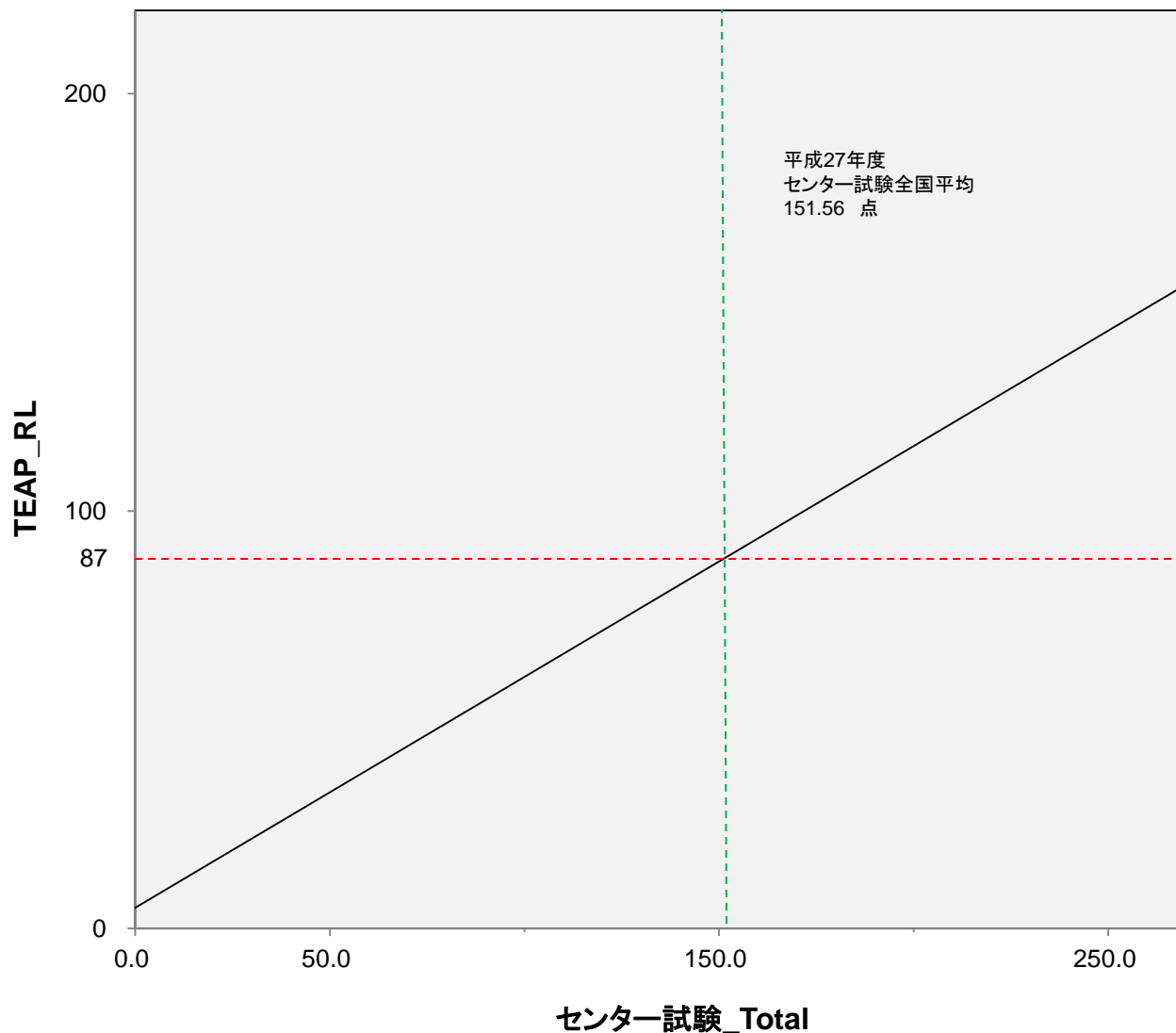
- 平成27年度大学入試センター試験（2015年1月実施）で、英語筆記・英語リスニングの両方を受験し、大学入試センター発行の成績通知書の提出が可能な方※を対象に以下の日程で複数のテストを受験させ、その相関を分析対象とした。

試験	実施日程	受験者数（実績）
英検模試（準1級～3級）	3月27日～4月19日	1,039名
TEAP模試	3月29日～4月19日	995名

※最終的に1,024名からセンター試験成績通知票の提出を受けた。

対応づけ調査結果(センター試験-TEAP)

センター試験（筆記・リス得点250点満点）・TEAP (RLスコア200点満点) 散布図をベースにした回帰直線

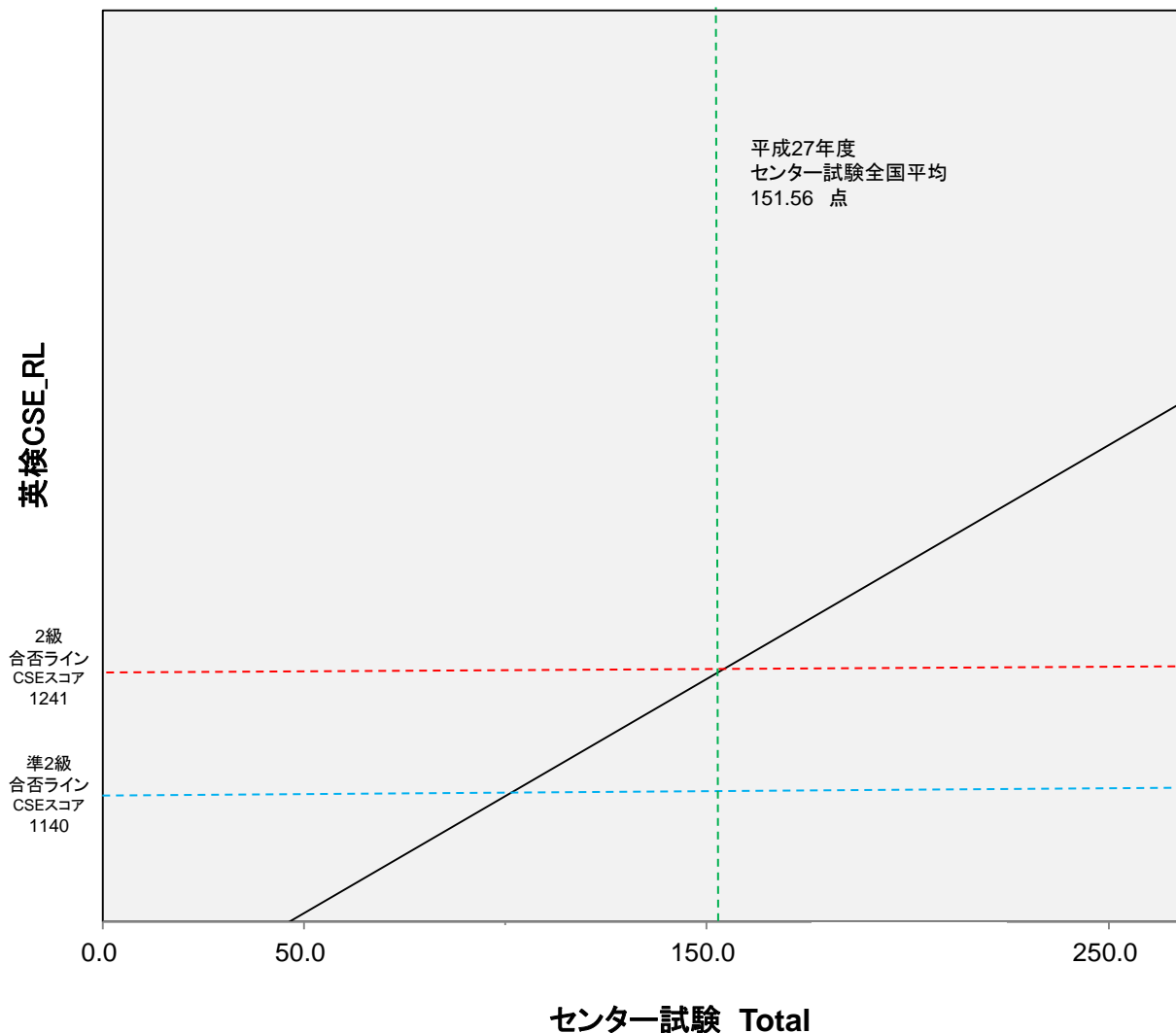


センター試験・TEAP RL
相関係数 $r=.798$

センター試験とTEAP RLと
の相関は高い。

対応づけ調査結果(センター試験-英検)

センター試験（筆記・リス得点250点満点）・英検CSE（RL合算）散布図をベースにした回帰直線

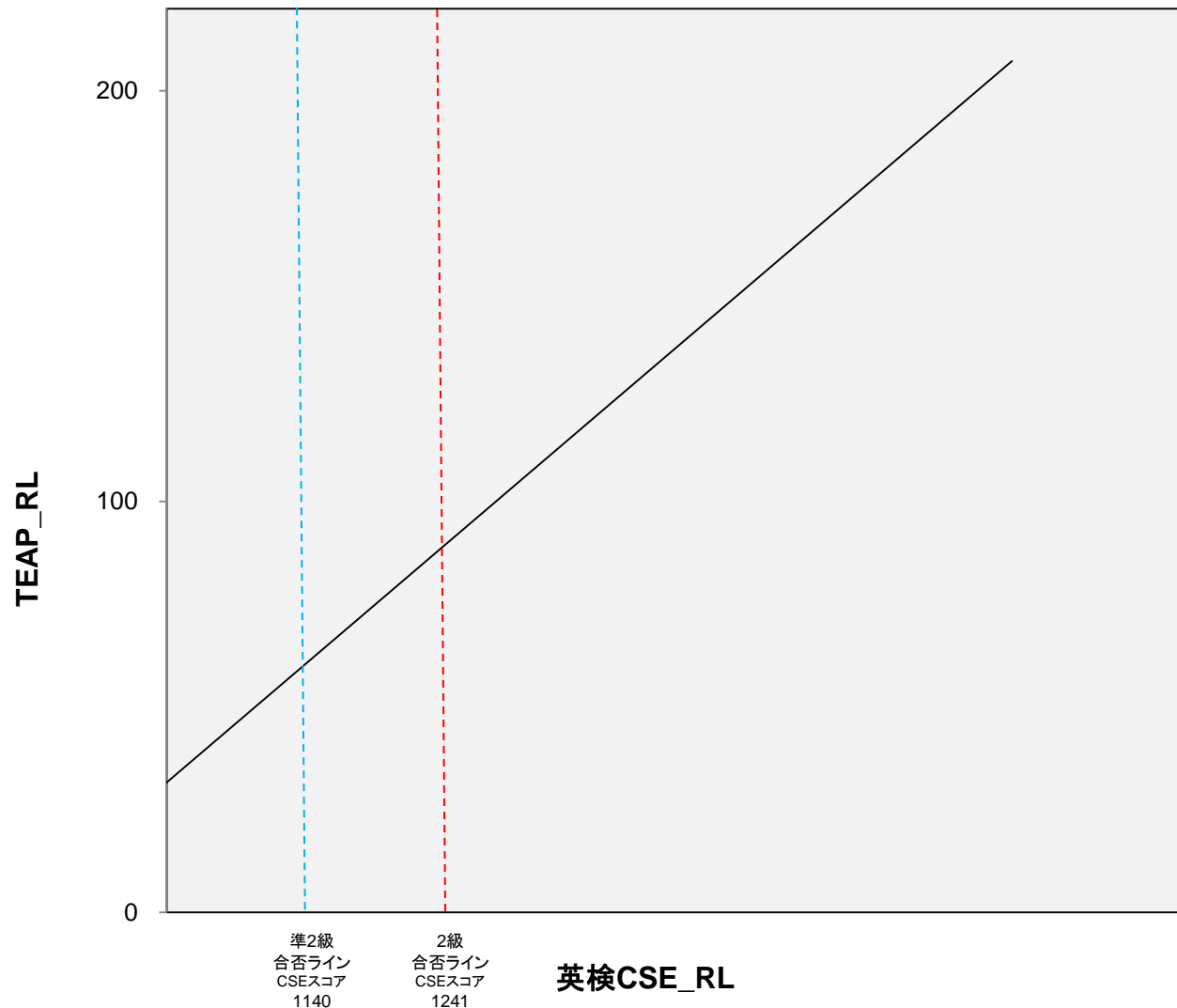


センター試験・英検RL
相関係数 $r=.894$

センター試験と英検 RLと
の相関は高い。

対応づけ調査結果(英検-TEAP)

英検CSE (RL合算) ・ TEAP (RLスコア200点満点) 散布図をベースにした回帰直線

英検RL ・ TEAP RL
相関係数 $r=.844$ TEAP RLと英検 RLとの
相関は高い。

公益財団法人 日本英語検定協会

教育事業部 塩崎・松平

TEL: 03-3266-5603

support-kokusai@eiken.or.jp

英検

後援:文部科学省

www.eiken.or.jp

TEAP
Test of English for Academic Purposes

www.eiken.or.jp/teap

IELTS™

www.eiken.or.jp/ielts